

11月10日
川口の日から



レジ袋の 無料配布を 中止します

本市では、レジ袋の大幅削減を目指し、事業者・市民団体と「レジ袋の大幅削減に向けた取り組みに関する協定」を締結しました。11月10日(月)川口の日から、協定締結事業者の市内店舗でレジ袋の無料配布を中止します。「買い物にはぜひマイバッグを！レジ袋はいりません！」

Q1 なぜレジ袋無料配布中止なの？

A1 買い物のたびに使うレジ袋。しかしこのレジ袋は、ごみになるばかりではなく、製造、加工、焼却のそれぞれ過程で地球温暖化の原因となるCO₂(二酸化炭素)を排出します。

ごみの削減や地球温暖化防止は、事業者や市民のみならず行政が積極的に取

り組まなければならぬ大きな課題です。

レジ袋の削減は、今までも各事業者がポイント制度などで取り組んできましたが、レジ袋の辞退率は1〜3割程度にとどまっています。

しかし、今回のレジ袋無料配布中止の取り組みを行うことで、レジ袋辞退率は8割以上になることが期待されています。

Q2 なぜレジ袋なの？ごみになりそうなのは他にもあるのでは？

A2 レジ袋を含む容器包装ごみ(トレーや食料品の包装などは、家庭ごみの容積の約6割を占めています。容器包装を減らせれば、ごみの量も減らせるのです。

トレーやラップで包装された魚を買う際、中身の魚だけを買い包装を外すことはできませんが、それを家に持ち帰るためのレジ袋は「いりません」という一言で、簡単に減らすことができます。

Q3 レジ袋がないと生活が不便になるのでは？

A3 レジ袋は、ごみを出すときに使ったり、濡れたものを入れたり、確かに便利です。しかし、レジ袋は全国で年間300億枚も使われています。つまり、1人1日約1枚使っていることになります。本当に、そんなに必要なのでしょうか。

何かに使えそうだから、便利だからともらっておくのではなく、まず「本当に必要か」ということを考えてみませんか。レジ袋の代わりに

にマイバッグや風呂敷を使えば、買い物に大きな支障はありません。環境に優しい生活は、このレジ袋を減らすことから簡単に始めることができます。

Q4 レジ袋はいくらで売れるの？

A4 レジ袋の販売価格は各店舗で決めています。多くの店舗では5円で販売する予定です。

みなさんのご理解ご協力をお願いします！

レジ袋無料配布中止店舗

事業者名	実施店舗名
イオンリテール(株) 関東カンパニー	ジャスコ川口店
	ジャスコ川口前川店
(株) イトーヨーカ堂	イトーヨーカドー西川口店
	イトーヨーカドー川口店
サミット(株)	サミットストア川口赤井店
生活協同組合さいたまコープ	ミニコープ天神橋店
	ミニコープ末広店
	ミニコープ戸塚東店
(株) ダイエー	グルメシティ東川口店
(株) ハイパーマーケット・オリンピック	オリンピック東川口店
(株) フードマーケット・オリンピック	オリンピック東川口店
(株) ベルク	ベルク川口前川店
(株) マルエツ	マルエツ元郷店
	サンデーマート上青木店
(株) ヤオコー	ヤオコー川口本町店
(株) ヨークマート	ヨークマート芝前川店
	ヨークマート柳崎店
	ヨークマートララガーデン川口店
(株) 与野フードセンター	フードガーデン戸塚安行駅店

これからも、たくさんの事業者に働きかけ、この取り組みの輪を広げていきます！

問い合わせ…廃棄物対策課 ☎228-5370